

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		各種お茶会の開催		担当課 施設名	( 名勝大乗院庭園文化館 )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-④、(14)-①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ <b>継続</b>		事業開始年	平成22年	実施回数	茶会 年7回
日時	みどり会4/29、9/18、庭園観賞茶会5/21、12/3、 燈花会茶会8/11、12、観月の夕べ茶会10/4		会場	茶会：館内和茶室		
目的	庭園と深い関係のお茶会を実施する。当文化館のお茶室を有効活用する。幻想的な燈花会と茶会を同時開催する。またにしへの催しである観月の夕べで茶会を開催する。（共催）					
内容	春と秋の庭園観賞お茶席を開催、秋については一人500円で入園付きとした。当庭園での燈花会の2日間に茶会を実施した。そのほかにもみどり会無料茶会を2回実施。中秋の名月の観月の夕べに茶会を実施した（庭園管理協議会が主催、当館は共催）下段の事業費については庭園観賞茶会と燈花会の計4回の茶会を事業費計上している。					
事業費（円）						
		歳入			歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	42,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	茶会4回の収入90,000	132,000	
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	61,290	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	60,400	121,690	
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			(気軽に参加いただきたいお茶会としてアンケートは実施できていない。今後考えたい)			
			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	4	春と秋の庭園観賞茶会は目標86人に対して76人、燈花会は86人に対して55人で燈花会の集客が良くない。（燈花会全体の広報に含めて欲しい）みどり会茶会と観月茶会はいずれも目標540人に対して618人と盛況 目標値：全体のお茶会712人 実績値：749人			
	顧客満足度	4	庭園の観賞と合わせての茶会となっており、おおむね喜んでいただいている。みどり会茶会（無料）は気軽に子供や留学生や観光客に参加いただいている。			
	市民参画・協働の成果はあったか	4	みどり会茶会のみどり会のボランティアで成り立っており、またその他の茶会は一席8名から10名のスタッフに協働いただいている。いずれも成果は大きいと考えている。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	4	みどり会は気軽に参加しやすい雰囲気、他の茶会のスタッフは元奈良茶華道連盟会長をなされた方で十分なおもてなしができています。			
	ターゲットは適切に絞れたか	4	ターゲットは特に絞っていないが気軽な茶会は子供や海外の方も多く、観月の夕べについては特に西日本の主要なJR駅にチラシを配置するなどの結果、広いエリアから来ていただいている。			
総合評価（自動計算）		4				
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 協働者のおかげで参加いただいた方にはおもてなしの評判がよく、丸窓の庭園の景色が良いとのこと意見も多く聞きます。座ることが苦手な方にはエントランスホールの長いすまでお持ちしており喜んでいただいている。</p> <p>(協働者) みどり会と観月の夕べ、秋の茶会では予定数を越えたお客様を迎えて、大変忙しい対応でお疲れでしたが、たくさんのお客様を迎えられることは感謝の声が聞けました。逆にお客様が少なかったときは申し訳なかった。</p>				
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標			
	今年度はいずれの催しも前年の参加数を超えることができて盛況さは増した、特に秋の庭園観賞茶会はお庭拝観効果が、目標を超えることができた。また燈花会の広報もしみんだよりでは全体の燈花会広報に関連施設として掲載されたことは良かったが、ポスターとチラシには依頼したが実現しなかった。		チラシ、ポスター配置、デジタルサイネージ掲載など地道に活用して拡大していきたい。燈花会については庭園の反り橋の完成に合わせて燈花カップの配置を充実するなど改善を図りたい。			

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		庭園講座・庭園研究講座		担当課 施設名	( 名勝大乗院庭園文化館 )
総合計画 該当項目	章	大2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-②、④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成23年	実施回数	庭園講座年2回 庭園研究講座年1回
日時	庭園講座5/20、11/25、 庭園研究講座10/21		会場	大乗院庭園文化館内	
目的	中世の名勝庭園文化施設として日本の庭園文化を紹介する講座を開催したい、当庭園の理解を深めて誘客を図ると共に新しい庭園研究等の情報を提供して奈良の庭園文化の紹介に繋げたい。				
内容	庭園講座：第13回「日本庭園の現場から・作庭紹介2000年以後」5月20日（土）受講者23人、第14回「日本庭園の現場から」～結界～11月5日（土）受講者25人 第5回庭園研究講座：「中世の大乗院庭園」10月21日（土）受講者21人				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	45,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	36,000	81,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	40,422	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	26,400	66,822
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)		<b>第13回庭園講座回収率87%、14回庭園講座80%、5回庭園研究講座70%</b>			
		配布数：69	回収数：56	回収率：81%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	3	目標値を収容スペースの最大値としていたので適切数を目指とした。庭園講座達成率100% 庭園研究講座達成率88% 目標値：受講者数3講座計72人（1回24人） 実績値：3講座計69人		
	顧客満足度	4	庭園講座、庭園研究講座ともにアンケートの感想意見欄には大変満足されている記述がほとんどである。		
	市民参画・協働の成果はあったか	4	各講座で若干の差はあるものの多くの市民より受講希望があり、前年と比較して増えている。講師について奈良文化財研究所に協力をいただいている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	4	庭園講座は奈良の庭園でもゆかりの森オサムに関係の方で海外でも活躍の日本庭園の作庭家に講師をお願いしている。庭園研究講座は奈文研の協力の下、大学の元教授に講演いただいた。		
	ターゲットは適切に絞れたか	3	受講者の年齢層は中高年の方が多いが、30～40代の方が延べ13人受講され19パーセントに当たり、若い方が増えた。ターゲットは幅広い構成が良いと思われる。		
総合評価（自動計算）		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) アンケートの「公演の感想意見」の欄で記されている内容はおおむね高評価で、庭園文化の発見ができた、今後庭園を見るのが楽しみなど先に繋がっている。回収率が高いことも興味を持って裏付けと考えたい。受講回数については初めての人が3割、1～2回目で4割となっており、バランスは良いと考えている。</p> <p>(協働者) 庭園講座について、年に2回継続実施して今年度が7年目となっている。受講者は大変興味を持たれている方が多く講師の先生に感謝している。また庭園研究講座は奈文研の協力の下で、研究員の方または紹介者を得て継続できている事業で今年で5年目となった。8年間担当いただいている文化サロンとともに今後につなげていきたい。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	実施回数は前年度と同様で受講者は前年が65人、今年度は69人となり若干だが増えた。アンケートの回収率も前年の65%から大幅に増えた。庭園研究講座では現在、図書で話題となっている中世の「寺社雑事記」の内容がテーマとなって興味が高かった。		今後も実施に繋げていきたい。そのためにも受講者の獲得に注力したい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		庭園・館内コンサートの実施		担当課 施設名	( 名勝大乗院庭園文化館 )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -①、④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成23年4月	実施回数	年3回
日時	「湖国と奈良と…ジョイントコンサート」4/8、 11/11、フルートコンサート4/16		会場	エントランスホール・和茶室又は庭園	
目的	誘客と身近な音楽の楽しさを提供して庭園に接する機会としたい。フォーク等のコンサート（ジョイントコンサート）2回、フルートコンサート等庭園観賞と併せて開催する。				
内容	湖国滋賀県から「ほっとらいん」地元の奈良から「109バンド」の2グループにより、よし笛ギターで共に歌うなど楽しいコンサートとフルートに聴き入る安らぎのコンサートを開催する。				
事業費（円）					
歳入					
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	32000 (消耗品費で賄う)	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	歳出
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	48,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)		48,000
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等はできるだけ実施してください。 実施の場合、回収件数・回収率等を記入)			参加しやすい状態にしたいためにアンケートはできていない		
			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	5	ジョイントコンサート2回で実数180人、フルートコンサート実数100人 目標値: 1回当たり60人 計180人 実績値: 280人		
	顧客満足度	4	フルートコンサート: 名曲をそろえて幅広い楽しさと豊かさを感じられた。ジョイントコンサート: いつも違う曲を演奏に入れて工夫を加えているので魅力が増している。いずれも途中退席の方は少ない。		
	市民参画・協働の成果はあったか	4	準備と進行は出演者と館員が行っているほかにボランティアの方が1名参加した。出演者は滋賀県から1グループ、地元から1グループで交通費程度の支出で長年にわたって協力いただいている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	4	滋賀県のグループは広範囲で活躍されて近江八幡市から表彰も受けている。また奈良のグループは聴衆を捕らえている。フルートは指導者、プロ奏者でもあり選曲も素晴らしい。		
	ターゲットは適切に絞れたか	4	ジョイントコンサートは中高年の方が多く庭に興味を持つ年齢層でもある。フルートコンサートは1回目にして若い方も加わり幅広い参加を得た。		
総合評価 (自動計算)		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) フルートコンサート: 途中の退席者はほとんど無くフルートの染み入る音色が聴衆に伝わった演奏会になったことが拍手とか笑顔で伝わってきた。選曲もとても良かった。ジョイントコンサート: 懐かしさと楽しさがお客様から聞こえてきて一緒に歌っている状況だった。また新しい曲に挑戦して違った味も利かせてくれた。</p> <p>(協働者) ジョイントコンサート: いつもたくさんのお客様が来てくれることに感謝しておられる。フルートコンサート: 1回目からたくさんのお客様が来られたことに感謝いただいた。次回の演奏も出演のご了解を得られた。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	ジョイントコンサート: 回数を重ねるごとにお客様が増えて魅力が増している。フルートコンサート: 貴重な演奏者を得ることができたと感激させられた。		続けていけることを願っている。広報の拡大も地道に図りたい。演奏の場所をやはり音の広がるエントランスホールの吹き抜け箇所で行うことを検討したい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		アーティストバンク		担当課 施設名	( 奈良市西部会館市民ホール )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1)ー③
	基本施策	2-05	文化振興課			(5)ー④
	施策	2-05-01	文化の振興			(9)ー③ (15)ー①
実施形態	単発・ <b>継続</b>		事業開始年	平成25年	実施回数	通年
日時	随時		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前ホール自主事業での出演の他、市内外での出張パフォーマンスを依頼するなど、発表の機会を増やして、皆さまの芸術をサポートを目的とする。					
内容	芸術活動を行っている方々、プロ・アマ・ソロ・グループを問わず、随時募集。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	30,000	30,000	
決算	市費（指定管理料等）	30,000	その他収入 （事業収入等）		30,000	
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	随時募集を行なっている為、目標値は定めていない。 目標値： 実績値：			
	参加者満足度	3	他府県からも、お問合せや申込みがあった。			
	市民参画・協働の成果はあったか	-	当方で企画運営等を行なった為、市民参画・協働の実績はなかった。			
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	3	従来通りの方法で進めてきた。			
	ターゲットを意識した企画であったか	3	ターゲットは特に絞っていない。			
総合評価（自動計算）				3		
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	学園前アートフェスタ時に学園前ホールにて、アーティストバンク登録者が出演。出演者と出演者の保護者や知人達が非常に喜んでいました。			これからもプロ・アマ問わずに、随時募集を行う。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		バリアフリー コンサート 高橋靖子 奈良から舞い下りた、きらきらほし		担当課 施設名	( 奈良市西部会館市民ホール )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー③
	基本施策	2-05	文化振興課		(5)ー①
	施策	2-05-01	文化の振興		(8)ー① (15)ー① (16)ー①
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成25年	実施回数	3回
日時	平成30年3月24日		会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	『社会包摂』を目的とし、日頃様々な理由で施設に来館できない障がいを外し、すべての人が楽しめる本格的な演奏をお客様に提供する。				
内容	クラシック音楽に接する機会を持って頂ける様に、障害のある人もない人も大人も子供も一緒に生音楽を親しんで貰う本格的なクラシックコンサート。				
事業費（円）					
歳入					
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	343,000	歳出 343,000
決算	市費（指定管理料等）	73,095	その他収入 （事業収入等）	251,400	324,495
事業成果					
アンケートの集計		配布数：146	回収数：93	回収率：	64%
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度	4	目標とする集客を、上回った。 目標値：150 実績値：158		
	参加者満足度	5	アンケート回収が93枚で大変良かったが71名・良かったが9名・普通1名と回答。 (アンケート集約顧客満足度 86%)		
	市民参画・協働の成果はあったか	3	アーティストバンク登録者でもあり、地域在住のアーティストが地域市民の音楽芸術鑑賞に貢		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	童謡をベースに質の確保ができた。		
	ターゲットを意識した企画であったか	4	障がい者や未就学児や健常者をターゲットにした企画。		
総合評価（自動計算）		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) ・バリアフリーコンサート、とっても素敵なコンサートですね。観客席のみなさまが皆笑顔で子ども達もとてもたのしそうでその雰囲気がとても心地良かったです。続けていただけたら有難いです。</p> <p>・歌の大好きな息子を連れてコンサートに行きたいといつも思っていたのですが、暗い場所や初めての場所は緊張もあってなかなか入れないこともありましたが、学園前であって本当に良かったです</p> <p>・バリアフリーコンサートの説明があったので、静かでない他のお客様のことも気になりませんでした。楽しく一緒に時間を過ごせたらいいなという気分でした。</p> <p>(協働者)</p> <p>・スタッフの皆さん全員が良い催しになるように、出演者がやりやすいようにご配慮いただき、かつプロとしてのご意見もおっしゃってくださってた事、催しに来られるお客様の方をしっかりと見てお仕事をされる姿。そんな皆様とご一緒させていただけたことは、私にとって本当に有難い時間でした。本当にありがとうございました。(高橋靖子 他2名)</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	高橋靖子さんと他2名様は日ごろから社会貢献も取入れたコンサートも自ら実施され、弊社の考えに一致して実現出来たコンサートであった。 奈良で活躍しているアーティストである人達で、今回の演奏を聴いた障害者の方々に感動と希望を与えた。		「バリアフリーコンサート」と云う、タイトルと主旨が少してはあるが、定着しつつある。今後も、「社会包摂」の趣旨を踏まえ文化振興に役立て、バリアフリーコンサートを行なって行く。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		国文祭・障文祭参加作品 学園前アートフェスタ2017 文化祭		担当課 施設名	( 奈良市西部会館市民ホール )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)～③
	基本施策	2-05	文化振興課		(5)～①
	施策	2-05-01	文化の振興		(15)～① (16)～①
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成27年	実施回数	2回
日時	平成29年11月4・5日		会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	芸術レベルの概念を取り払って国民文化祭・障害者芸術文化祭のテーマに併せ、また学園前アートフェスタと同時期に開催する事によって、地域外との交流をとおし、絆と賑わいをもたらす文化の発展に寄与すると同時に学園前ホールの知名度UPにつなげて行く。				
内容	アーティストバンク登録者のアーティスト達に発表機会を創出すると同時に、今回初めて奈良県立養護学校の生徒達のクラブ活動の発表の場を提供する。また参加者を一般公募し、日頃の文化・芸術活動の成果を発表する機会を提供する。				
事業費（円）					
			歳入	歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	1,000,000	1,000,000
決算	市費（指定管理料等）	251,574	その他収入 （事業収入等）	856,951	1,108,525
事業成果					
アンケートの集計		配布数：200	回収数：150	回収率：	75%
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成	参加者数・参加率の達成度	5	開演時は参加人数は少なかったが次第に増えて行き、最終的には目標値を上回る参加者であった。 目標値：500 実績値：630		
	参加者満足度	5	参加者全員が感動され、満足され喜んでおられた。		
	市民参画・協働の成果はあったか	5	地域住民ボランティア、帝塚山学園の生徒、学園前街育プロジェクトとの協働成果は確実にあった。		
果	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	5	一年以上の歳月をかけ、念入りに20団体の出演者と出来るだけの要望を取入れた打合せ、リハーサルを行った事で質の確保・向上がなされた。		
	ターゲットを意識した企画であったか	5	出演者の家族や友人をターゲットに絞ってしたが、ロビー絵画展示の見学者もターゲットに見込んでいた結果、多くの奈良市民や、自治会の協力も有り予想を上回る地域在住者が鑑賞に訪れた。		
総合評価（自動計算）		5			
参加者や協働相手からの意見		<p>（参加者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和太鼓演奏はリズム感抜群で、その上ナメクも良く、一緒に本当に楽しかったです。3人で200才とビックリしました。若々しい。皆さんを見て、元気をもらいました。最高！</li> <li>4日、5日、もう少しバラバラの内容がよいです。私は4日の内容が好きでした。日曜しか来れなかった。楽器演奏はよかったです。</li> <li>すべての演目が玄人はだして良かったです。特に下記のグループが一押しでした。ツツキヨ：いかにも定年退職したおじさん達が一生懸命練習した成果がよくでていました。Dツツキ：迫力があってすばらしいです。以前聴いた時より笑顔が少ないように感じました。少しあがっていたのかな。メロも大部入れ替わっている様でした。今後益々の活躍を期待します。</li> </ul> <p>（協働者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アーティストバンクを学園前アートフェスタにコラボして頂いて非常にありがたかった。（自治会）</li> <li>また、奈良県立西養護学校のマネージメントをして頂き、感動的で大成功に終わった。（奈良県立西養護学校）</li> </ul>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	<p>今回は学園前アートフェスタの取組みに、当方が行っているアーティストバンク登録者と一般公募の方々の参加によって、本格的な照明、音響、プロスタッフによるコンサートが出来た事が出演者の感動と喜びを引き出したと考える。中でも奈良県立西養護学校の生徒達による合唱とダンスは来場者の心に響き涙を浮かべていた光景を今も思い出す。2日間の内容は予想以上に盛り上がり感動的であった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の集まる内容を検討。</li> <li>メディアイベントとのコラボを目標と考える。</li> </ul>		